

平成 30 年北海道胆振東部地震 写真から見る記録集

地震発生からの記録と記憶 平成 30 年 9 月 6 日 午前 3 時 7 分 59 秒 震度 6 強 (1505 ガル)

【情報共有会議】

朝と夕方の情報共有会議 総合庁舎 総務課内

※出席：全課、国土交通省、警察、気象台、自衛隊



- ① 本部長あいさつ
- ② 各課からの被害等状況報告
道路・水道・電気、救急搬送事案、避難所情報
- ③ 気象台等対向支援からの報告
- ④ 災害ボランティアセンターからの報告
- ⑤ 総務課長よりその他報告

【町民への周知】



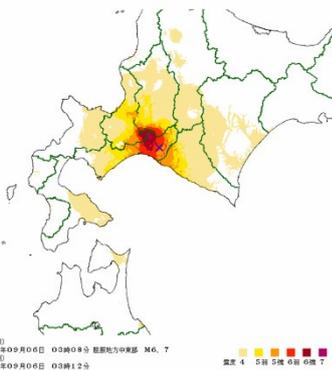
【通常時】

背景がブルーかピンク
色ボタンについては特産品等紹介

【非常時】

背景が赤
色ボタンについては、避難所情報となる。

その他：防災行政無線、広報車、広報号外号（9月～11月までの間 10号発行、12月より通常）



- ・安平町 震度 6 強
- ・追分観測点では、
最大加速度 1,505 ガル
- ・平成 30 年 9 月 6 日以降
最大震度 1 以上 3 2 6 回
安平町で震度 4 以上 1 0 回
(平成 30 年 1 1 月 30 日現在)
- ・平成 31 年 2 月 21 日震度 5 強

【災害対策本部設置までの時間軸】

3:08	情報	地震発生
3:15		総合庁舎開庁
3:25	指示	庁舎内確認及び電話対応 記録班設置(職員来庁・住民対応電話)
3:33	職員	職員メール配信による職員の安否確認、追分在宅総務課職員へ総合支所での対応を指示
3:40		災害対策本部設置(第3非常配備 全職員)
		情報収集並びに各課施設等パトロール 被害の状況により担当職員、消防へ要請 報道統制措置(総務課長から情報発信)

4:10 自衛隊 L O 派遣要請

公式発表 6:00 北海道より北部方面隊派遣

2018 年 09 月 06 日 03 時 08 分

胆振地方中東部 M6.7 気象庁ホームページより

【対策本部・医療班】 総合庁舎 1階



情報共有会議の様子

9/6 3:40 災害対策本部設置

総務課内：指揮室

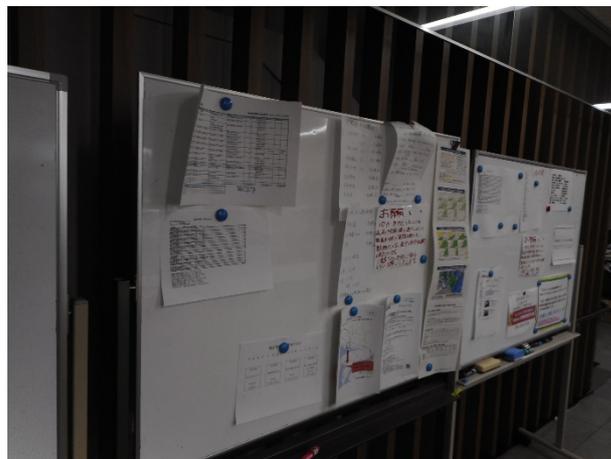
政策推進課内：自衛隊、国土交通省、警察、気象台



対向支援(岩手県リエソン 西島 氏より避難指示等アドバイスを受ける。)



健康福祉課・DMAT T



情報開示（避難所・断水復旧・気象等情報）

【被害の状況】 建物倒壊、山腹崩壊、斜面崩壊、液状化、地割れ、地盤沈下、隆起が起きた。



商店街における被害～安平町商工会



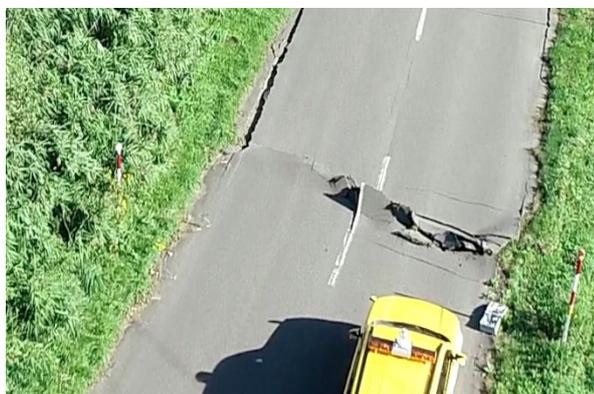
商店街における被害（早来地区）



早来北進特定単身者住宅に迫る土砂崩れ



早来中学校 校庭の地割れ



地震により隆起した道路（早来守田地区）



地震により隆起した下水道管（追分若草地区）



山林の土砂崩れ、道路の地割れ（早来守田・緑丘）



早来守田地区（住宅の下における地割れ）

瑞穂ダム周辺の土砂崩れ（早来瑞穂）



早来大町地区（揺れによる家屋移動）



地震により倒れた墓石（早来地区）

調査によると一部損壊以上 1000 基との報告

【総合庁舎被害】



液状化したときわ球場（早来地区）



正面玄関入口（地割れ・沈下）



既存庁舎裏（のり面 地割れ・膨らみ）

※総合庁舎における被害は地盤沈下により、既存庁舎内において増築した部分で 45mm 沈下した影響で、庁舎内ロスナイ等配管がズレ、天井（水道課、健康福祉課）で水漏れが発生。また、総合庁舎裏ののり面にも地割れが発生し、現在もブルーシートにて応急対応している。増築庁舎前の駐車場においてもロードヒーティング、舗装面も被害があり現在修復中である。



総合庁舎（増築庁舎裏）



総合庁舎（前駐車場沈下）



総合庁舎（議場内）



サーバー室



総合庁舎（既存庁舎 沈下 45mm）



子どものケアによる「あそびのひろば」開設



追分小学校付近

【避難所の様子】



早来小学校（発災時）



追分公民館（発災時）



追分公民館（ダンボールベット）



町民センター（発災時）



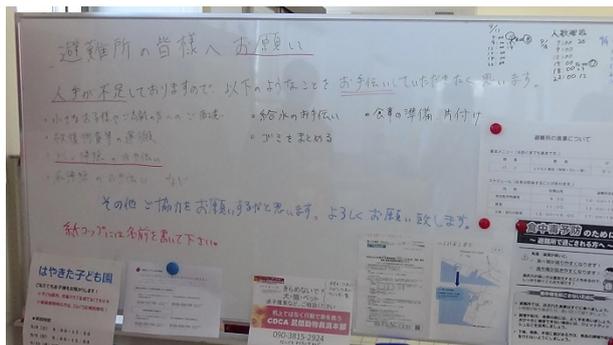
町民センター（ダンボールベット）



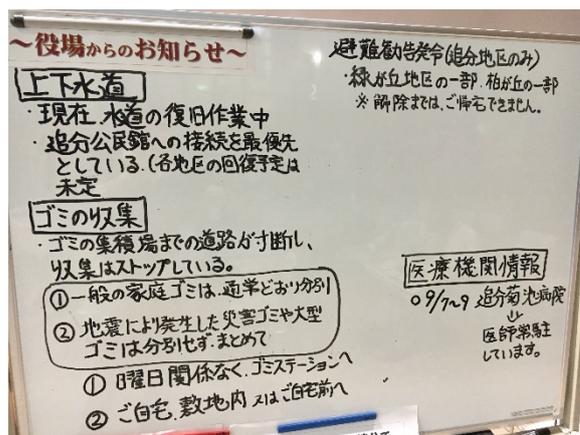
青葉会館（自主避難所として町内会が開設）



【各避難所からの発信】



遠浅公民館掲示板



追分公民館掲示板



安平公民館掲示板



町民センター（避難所 ロビー）

【物資受入れ・情報開示スペース】



支援物資（総合庁舎前 駐車場）



総合庁舎（総務課前 掲示板）



【仮設住宅説明会の様子】



仮設住宅抽選会の様子



〈仮設住宅支援〉 灯油 100ℓ (32戸) ピースボード
家電3品目選択支援 PWJ
談話室内備品 (テレビ等生活用品・物置) ピースボード

仮設住宅談話室内 (ドリンクコーナー: AGF)



仮設店舗 (早来地区 3件)



仮設住宅 (早来地区建設風景) 早来 17戸 追分 13戸



談話室 (追分・早来地区 各1)

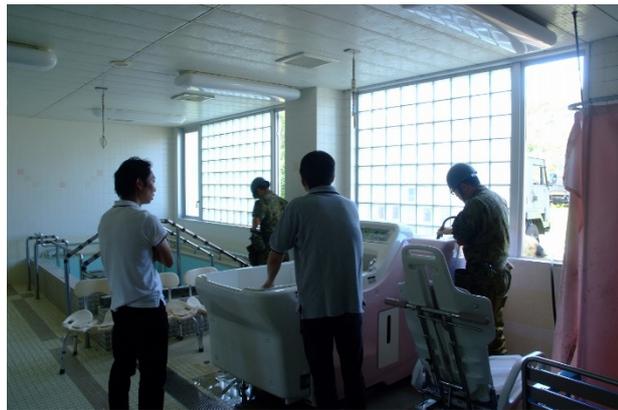


早来中学校仮設校舎

【自衛隊の支援】



医療班派遣支援（渡邊医院）



高齢者施設への給水支援



住宅地への給水支援



入浴支援（町民センター駐車場）



輸送支援（物資補給）



給食支援（炊き出し）

【明るい話題】



早来小学校 8000人の笑顔プロジェクト



4/19 「D51 ステーション」開業

<資料編>

住家調査編 建物被害（安平町）

○住家・非住家被害の状況 全体家屋調査数 7,221 件

9月14日から開始し10月5日までの22日間にてほぼ終了した。要した人員は道内 市町村 400人、岩手県・市町村 360人、新潟県・市町村 368人 延べ1,128人

住家 3,158棟、非住家 4,055棟 計 7,213棟 以降8棟については、10月13日で終了した。

り災証明交付時において住家、非住家の区別が確定している。(11/21現在)

住家被害において2次調査により12/20現在では7,397棟に達した。外観被害より、地域において内部における被害が多かった。



事前研修（実地調査の前段内閣府ガイドラインに沿った研修を実施）

新潟大学 田村教授



事前研修（庁舎を活用し実地研修）

富山大学 井ノ口准教授



調査区域の地図による確認



新潟県・岩手県・北海道応援派遣職員



現場調査の様子



罹災証明書交付時

交付申請書に家屋番号を告げると、システムに登録された家屋被害の部分の写真を確認し、被害区分に納得が行くと交付。内部がひどい等申出により第2次調査に進んだ。